

博物館だより

第28号



▲ヨメ・ムコ・チュウニン・コモリ・オンマラ
(小田切小鍋日方)



▲御神体 (稲葉日詰西組)

「まつる・ふさぐ・もやす —道祖神・祈りとかたち—」 開催される

1994年7月10日～8月21日

はじめに

今回の特別展では、人々が小正月に人形の道祖神をつくり、縁結びや子宝祈願として道祖神碑の前に「まつる」、また地区のドウロクジンバにまつることで悪疫や災害などが地区に入ってくるのを「ふさぐ」、そして「もやす」ことで地区の悪疫を人形道祖神に背負わせて払う、といった表現で道祖神祭りをとらえました。そして、現在行われている長野市内の道祖神祭りを中心に紹介し、様々な人形道祖神について展示したものです。

道祖神^{えんむす}って、縁結び^{こだから}や子宝祈願^{きがん}の神さまなの!?

道祖神^{えんむす}というと、地区の境や入り口などにたつ石造物や、安曇野^{あずみの}などに多く見られる双体道祖神^{そうたい}などを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

いつ頃から、このような人形道祖神がつくられたのかは明らかではありませんが、石造物としてたてられる以前から、木やワラでつくられた道祖神が存在していたと考えられています。今回の展示で集められた資料は、まさに道祖神という神さまの最初の姿といえます。

また、ヨメやムコ^{こんれい}など婚礼^{こちよう}の格好をしているものや、男女のシンボルを誇張^{こちよう}させているものなど、滑^{こつ}



▲ドウソジンとオカリヤ（芋井広瀬百舌原^{もずはら}）

稽^{けい}な神さまが多いのに驚かれた方もいるのではないのでしょうか。「道祖神」という文字からも、地区の境や入り口で旅の安全祈願や道案内の神さまと考えるのが一般的になっていますが、長野市内における道祖神祭りでは、縁結びや子宝祈願などの信仰が強く、身近で親しみ深い神さまであるが故に、民間信仰のなかでも様々な人々の願いを背負わされてしまったのです

長野市内の道祖神祭り

長野市内では、子どもたちが各家を勧進かんじんしてまわり、ご祝儀を集める地区や、男女のシンボルを誇張こちょうさせた巨大なワラ人形や、婚礼の格好をした人形道祖神をつくる地区、掛軸を飾って道祖神講こうを組んで祭りをを行う地区など、多様な形態で道祖神祭りが現在も行われています。

そして、毎年小正月のときにつくる人形道祖神は、道祖神碑の前に供えられて碑と共に地区を守るか、地区の悪疫を背負わされてドンド焼きで燃やすかのどちらかに大別できます。しかし、これらの祭りも時代の流れとともに簡略化されたり、継承者がいないために祭り自体を取り止めたりしてしまう地区も少なくありません。

長野市の貴重な伝統行事として行われている道祖神祭りの調査が今回の展示で終わることなく、これらの資料が道祖神祭りの実態をさぐる基礎となり、さらに皆さんの関心や興味をいっそう高めていただくきっかけになればと願っております。

今後とも博物館では、道祖神祭りに関する民俗調査を行っていく予定ですので、皆さんの地区の祭りの様子など、さまざまな情報をお寄せいただきたいと思います。（文責 辻 浩子）



▲ドウソジン（芋井桜中村）



宮下健司氏による記念講演▶

◀若穂保科高岡地区の皆さんによるものづくりの実演



博物館の所蔵資料から③

いちごさわ 大岡村市後沢の ごま 護摩祭

さらしな
更級郡大岡村の市後沢地区は7戸の集落で、毎年4月3日に護摩祭が行われます。昭和38年に祭りが一時中断されましたが、平成5年から再び行われるようになりました。護摩とは密教の修法の一つで、ふどうみょうおうだん不動明王などの前に護摩壇を設け、ごまごた護摩木を焚いて息災や増益などを祈るものです。

当博物館には、平成6年の護摩祭で作られたソウリが寄贈されています。

護摩祭は3日の午前中、当番の家で大きなソウリを一つ作ることから準備が始まります。そして、完成したソウリは護摩をたく公会堂に一旦飾られます。

公会堂では、ソウリ作りと併行して護摩壇が設けられ、杉の葉を敷いたほうろくに尺一寸の長さのヌルデの木しゅくいっすん(36本)が用意されます。次に、地区の男衆が集まって護摩たきが行われ、この煙りにあたれば風邪をひかないと言われており、護摩たきが終わると煮物なおりなどを食べて直会が行われます。

そして、翌日にはソウリを道祖神碑など石造物が並ぶ場所に飾りますが、昭和30年代まではソウリを5つ作り、山の神さまや道祖神碑、大岡村と東筑摩郡の郡境など地区の5ヵ所の出入口に飾りました。

このように、境の神さま(サイノカミ)としてまつことで、市後沢にはこのソウリを履く大男が住んでいることを示し、厄病や流行病などが地区内に入っこないように願うものです。

(文責 辻 浩子)



▲ソウリづくり



▲護摩をたく様子

博物館だより №28 1994.9
編集・発行 長野市立博物館
〒381-22長野市小島田町1414
☎ (0262)84-9011